

顧問打ち合わせ確認事項について

＜令和7年度 第78回北海道高等学校バスケットボール選手権大会

兼 全国高等学校バスケットボール選手権大会 釧根地区予選会＞

1 競技規則について

2025バスケットボール競技規則により行います。

競技規則の変更については、年度初めの春季大会でお知らせした通りですが、改めてご確認ください。

JBAより配信されている主な変更点パート1及びパート2の詳細に関しては、次のURLからご確認ください。

【パート1】 http://www.japanbasketball.jp/files/referee/rule/2025rule_changepoint_20250306.pdf



【パート2】 http://www.japanbasketball.jp/files/referee/rule/2025rule_changepoint2_20250128.pdf



2 JBAプレーコーリング・ガイドライン（20250801）について

FIBA競技規則に「Official Basketball Rules」「Official Interpretations」に基づき、審判員が判定を下すうえでの基準、解釈をまとめたものです。審判、コーチ、選手、観客が現行のFIBAルールを同じ解釈で理解するためにもご確認ください。

【JBAプレーコーリング・ガイドライン（20250801）】

http://www.japanbasketball.jp/files/referee/rule/5on5_Guide20250801.pdf



＜例として一部の追加、変更箇所のみ提示します＞

6. プロテクトシューター

(1).⑤ 特に悪質であると審判が判断した場合、UFやDQの判定となる（自動的にUFやDQではない）

14. フェイク

(2).③ 1人のプレーヤーがディフェンスファウル（または、オフenseファウル）ともフェイクとも判定できる行為を行った判断できる場合、ファウルを優先して判定する。

(2).④ ディフェンスファウルまたは、オフenseファウルを宣した場合でも、そのファウルとは別に、フェイクを記録することができる。

3 確認事項

- ① 試合の指揮を執られるコーチは試合開始の5分前までにスコアシートにスターティングメンバーの記入をしサインを行ってください。
- ② サインしたコーチとスコアシートに記入されたAコーチのうち、1人だけがチーム・ベンチエリアで立ち続けることが認められています。両者が立ち続けることはできませんので、ご確認ください。
- ③ タイム・アウトの請求はサインを行ったコーチ、またはスコアシートに記入されたAコーチが行ってください。請求する際、コーチやAコーチが最大限の努力を払い、スコアラーがタイム・アウトの請求を目で見てははっきりと確認できるようにスコアラーに対してタイム・アウトの請求を伝えてください。
タイム・アウトを請求するときには、例えば「相手のフィールド・ゴールが成功したらタイム・アウト」とか「最後のフリースローが成功したらタイム・アウト」などというような条件をつけることはできません。
- ④ 選手の交代は、ジャージ、Tシャツ等を脱ぎユニフォーム番号が確認できる状態で、交代する選手自らがスコアラーに対してははっきりと確認できるように申し出をお願いします。
- ⑤ ユニフォームのシャツがパンツから出た場合、選手が自主的に入れるようご指導ください。
- ⑥ ゲームキャプテンがコートから退くときは、代わりのキャプテンをコーチが審判に伝えてください。
- ⑦ ゲームのスムーズな進行にご協力ください。タイム・アウト後の試合の再開については、50秒の合図でコートに戻り、60秒の合図で試合が再開できるようにご協力ください。
- ⑧ インテグリティについて、今一度競技規則、プレーコーリングガイドライン、JBAのHP等を各チームでご確認ください。インテグリティの基本的な考え方は「バスケットボールの価値を高めるため、一般の方々にとって見苦しい振る舞いをなくすこと」「全ての関係者に対してリスペクト（尊重）すること」です。
- ⑨ TOは高校生が担当します。同じバスケットボールにたずさわる仲間として、教育的配慮で対応いただくようお願いいたします。

今大会も大会運営へのご協力よろしくお願いいたします。